

ラプスフェア、直径 3 メートルのランプ測定用積分球「LMS-3M」の提供を開始 大型光源の完全な特性評価に関する LM-79 および LM-80 標準に準拠

2010/7/1

ニューハンプシャー州ノースサットン(2010年6月) - 照明技術が進歩し、より大規模かつ複雑な装置にも対応できるようになったことを受け、ラプスフェア(Labsphere, Inc.)は、大型ランプおよび発光体の完全な光学的特性評価を行うための3メートル積分球 LMS-3M の提供を開始しました。この積分球は、IESNA LM-79、LM-80 の各標準に準拠しており、2メートルまでの直線ランプと30センチまでの発光体すべてについて正確かつ再現性のある測定が可能です。

このランプ測定用3メートル積分球は、最長2メートルの蛍光灯に至る、ほぼあらゆる種類のランプを容易かつ効率的に測定するため、下向き、上向き、あるいは縦方向に設置された光源に対応しています。また、基板あるいは放熱板を備えた試験用光源の前方光束測定および部分光束測定も可能な設計となっています。

大型の球体により、光がさらに積分され、全分光放射束、光束、相関色温度(CCT)、演色評価数(CRI)、色度の測定とともに、装置の測光および比色分析の信頼性もさらに高まります。測定データは、サイズ、形状、スペクトル分布に左右されることなく、検査装置の実際の出力によってのみ測定されます。

球体に施されたスペクトラフレクト®(SpectraReflect®)内部コーティングは、ほぼ完全なランバート面なので、光が均一に分散され、他の球体用コーティング材に比べ、ホットスポットが平均化、削減されます。スペクトラフレクトは、反射率が98%で、低ルーメンランプの光学効率性が更に向上し、可視光領域ではスペクトル的に平坦となっています。

LMS-3M は、ほとんど調整することなく、同一システムで様々な種類のランプと発光体を測定できるように設計されています。標準的な球体の形状は4piの測定に対応し、また、オプションのアーチャーリデューサーを使用することで、2piの測定に対しても容易に設定可能です。バッフル(遮光板)付きの入力・出力ポートと周囲温度調節器が測定環境における温度をモニターし、維持するので、エナジースター(Energy Star: アメリカ環境保護局(EPA)が推進する、電気機器の省電力化プログラム)の要件を満たしています。この新たなサイズの積分球は、ラプスフェアのあらゆる測光システムおよび分光放射システム、ならびにソフトウェアに適応、現行のシステムをご使用の方も簡単にアップグレードすることができます。

LMS-3M は、検査のニーズに合わせて、ソフトウェアとアクセサリを用いてカスタマイズ可能です。独自のアプリケーションについて、経験豊富なアプリケーションエンジニアへの相談をご希望の場合、日本代理店のオセアンフォトンクス株式会社にご連絡下さい。

〈ラブスフェア社について〉

ハルマ (Halma) グループの一員であるラブスフェアは、放射量と測光量の精密な検査、測定用製品の設計および製造を手掛けている世界屈指の企業であり、航空宇宙、エレクトロニックイメージング、LED、照明装置、医療イメージング、光学の各業界独自のニーズに対応しています。当社は、積分球システム、均一な較正用線源、分光測定用アクセサリ、拡散反射材料およびコーティングなど、幅広い製品を提供しています。



ラブスフェアの3メートルランプ測定用積分球 LMS-3M

お問い合わせ先:

オセアンフォトンクス株式会社

〒164-0001 東京都中野区中野 1-50-3 ベニツル中野ビル 4F

Tel: 03-5337-0280 / Fax: 03-5337-0285

E-mail: sales@oceanphotonics.com

URL: <http://www.oceanphotonics.com/>